

まちづくり

Vol. 211
(H25. 7. 26)

北海道開発局都市住宅課
まちづくり相談窓口

メールニュース

今号の
記事

- 国営滝野すずらん丘陵公園は、7月30日で開園30周年
- 「社会資本整備総合交付金等活用パンフレット」のリニューアル
- 北見の魅力発見！写真家と巡る景観バスツアー
- 江別市野幌駅周辺地区「サイクルシェアリング」事業の実施について

各項目の○を
クリックすると
各項目見出しに
ジャンプします

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、
まちづくり相談窓口(メールはこちら)まで

※配信希望は随時受け付けております。

国営滝野すずらん丘陵公園は、7月30日で開園30周年 ～夏は涼しい“花の滝野”へ～

道内唯一の国営公園、滝野すずらん丘陵公園が、この7月30日、おかげさまで開園30周年を迎えますので、記念イベント等についてご紹介します。

滝野すずらん丘陵公園は、札幌市南区滝野にある里山の自然を活かし、保全・整備した日本最大級の都市公園です。

札幌市をはじめ、地域の皆様の後押しを受けて整備を行い、今から30年前の昭和58年7月30日に溪流ゾーン30haを開園。その後も開園エリアを広げて平成22年には全面開園しています。

現在では、毎年約60万人、開園以来の累計では約1,600万人(平成25年3月時点)もの方々にご来園をいただいています。

この夏は、30周年を記念した「滝野ガーデンフェア」を8/18(日)まで開催しています。7/27(土)、7/28(日)には、ステージイベント「滝野たんじょう祭」を行いますので、皆様のご来園をお待ちしています。

「滝野ガーデンフェア」主なイベント (パンフレットは[こちら](#))

- ① 「滝野たんじょう祭」：音楽ステージのほか滝野公園のマスコットキャラクター「きのたん」とそのファミリーによるステージショーを行います。
- ② 花のみどころガーデンツアー「ブルーガーデンスペシャル」：約6千株のラベンダーや青や紫の花を中心とした「ブルーガーデン」の設計者によるガイドツアーを行います。

国営滝野すずらん丘陵公園ホームページは[こちら](#)



今が見ごろのラベンダー



「きのたん」(左から3匹目)とそのファミリー

「社会資本整備総合交付金等活用パンフレット」 (北海道開発局作成) のリニューアル

北海道開発局では、社会資本整備総合交付金等を通じて、地方公共団体等が行う防災・減災、安全を実現するための取組や地域の成長力強化、地域活性化等に繋がる社会資本の整備等を支援しています。

このたび、これらの支援メニューを紹介するパンフレットについて、リニューアルしましたので、その概要をご紹介します。

～パンフレット①「防災まちづくり 応援します！」と ②「北国の資源・特性を活かした地域づくり 応援します！」の概要～

①防災まちづくり関連の支援メニュー紹介は、[「防災まちづくり 応援します！」](#)に掲載

⇒追加メニュー「住宅・建築物の耐震化」

- 住宅・建築物の耐震改修促進法改正の紹介
- 住宅の耐震改修（地方公共団体が耐震診断・改修の助成制度を設ける場合に支援）
- 医療施設・学校の耐震化（救急医療拠点となる医療施設や避難場所となる学校の耐震化）

②防災関連を除く魅力と活力あるまちづくり・住まいづくりの支援メニュー紹介は、[「北国の資源・特性を活かした地域づくり 応援します！」](#)に掲載

⇒追加メニュー「コンパクトなまちづくり」

- 低炭素まちづくり計画作成への支援や計画を進めるための取組に対する財政的支援
- 都市再生整備計画事業を活用した「地方都市リノベーション事業」により、対象区域に支援

⇒追加メニュー「空き家再生のまちづくり」

- 空き家の現状とこれによる周辺への悪影響（防災・防犯性の低下、景観等の悪化等）
- 空き家の有効活用等に関連する各種支援制度
 - ・空き家再生等推進事業
 - ・街なみ環境整備事業
 - ・既存建物物活用事業（都市再生整備計画事業）
 - ・暮らし・にぎわい再生事業（空きビル再生支援） 等
- 空き家再生等推進事業（活用事業タイプ）
 - 補助対象経費
 - ・空き家住宅・空き建築物の改修等に要する費用
 - ・空き家・空き建築物の所有者の特定に要する経費
- 空き家再生等推進事業（除却事業タイプ）
 - 補助対象経費
 - ・不良住宅・空き家住宅の除却等に要する費用
 - ・不良住宅・空き家住宅の所有者の特定に要する経費、不良住宅等の所有者の特定のための交通費、証明書発行閲覧費、通信費、委託費等

北海道開発局のHPにも掲載しています。リンクは[こちら](#)

北見の魅力発見！写真家と巡る景観バスツアー

北見市では、「北見市景観条例」「北見市景観計画」の策定に向けて、北見市の景観に対する市民意識の向上を目的に、「北見市景観フォトコンテスト」の応募で寄せられた良好な景観スポットを巡る景観バスツアーを実施しますので、その応募要領等について、ご紹介します。

◇概要

北見市内の各撮影場所において、お招きした講師の方から景観写真の撮影方法について指導を受けながら撮影するとともに、北見の良好な景観を知っていただきます。

また、バスツアー終了後は撮影した写真の講評を行い、景観写真を良く見せるための視点や構図を学んでいただきます。

あなたの撮った写真をはがきやフェイスブック、ブログ等に載せて北見の景観のすばらしさを知り合いの方に紹介してください。

- ◇主催 北海道、北見市
- ◇実施日 平成25年8月25日(日) 9:00~16:45
(荒天の場合は9月1日(日)に延期いたします)
- ◇集合時間 8時50分
- ◇集合場所 中央プロムナード 芸術文化ホール側 (北見市泉町1丁目3-22)
- ◇撮影場所 本沢牧場 → 端野町協和の田園 → ハッカ御殿
- ◇講評会場 北見芸術文化ホール(大練習室)
- ◇講師 佐藤 臣里 氏 (公益社団法人 日本写真家協会 会員)
- ◇応募関係
 - (1) 対象 デジタルカメラを持参できる方(中学生以下は保護者同伴)
 - (2) 定員 40名
 - (3) 参加費 無料
 - (4) 応募方法 往復はがき(申し込みは1枚につき2名まで)に代表者の住所・氏名・年齢・電話番号を、同行者がいる場合は同行者の氏名・年齢を記入して、下記応募先までお送りください。
- ◇応募先 〒090-8501 北見市北2条東1丁目11番地 北2条仮庁舎4階
北見市都市建設部都市計画課(都市企画担当 佐藤、長尾)
- ◇締切 8月9日(金)当日消印有効。応募多数の場合は抽選とし、結果は8月16日(金)までに代表者の方に、はがきで通知します。

※その他、詳細は北見市HPへ→リンクは[こちら](#)



※写真は「北見市景観フォトコンテスト」受賞作品、左から大賞、田園景観部門グランプリ、花の景観部門グランプリ
詳細は北見市HP「北見市景観フォトコンテスト」受賞作品発表表へ→リンクは[こちら](#)

江別市野幌駅周辺地区「サイクルシェアリング」事業の実施について

江別市では、「環境に配慮したまちづくり」や「放置自転車対策」を目的に、野幌駅周辺地区の2か所（JR野幌駅・北海道情報大学）にサイクルポート（共有自転車専用駐輪場）を設置し、50台の自転車を通勤や通学に共同利用する「サイクルシェアリング」事業を今年8月から実施しますので、ご紹介します。

また、この事業開始に当たり、「オープンセレモニー」と共有自転車を活用した「プレオープンイベント」が7月27日(土)に開催されますので、あわせてお知らせします。

●実施期間

平成25年8月1日（木）から11月30日（土）まで

●利用時間・料金

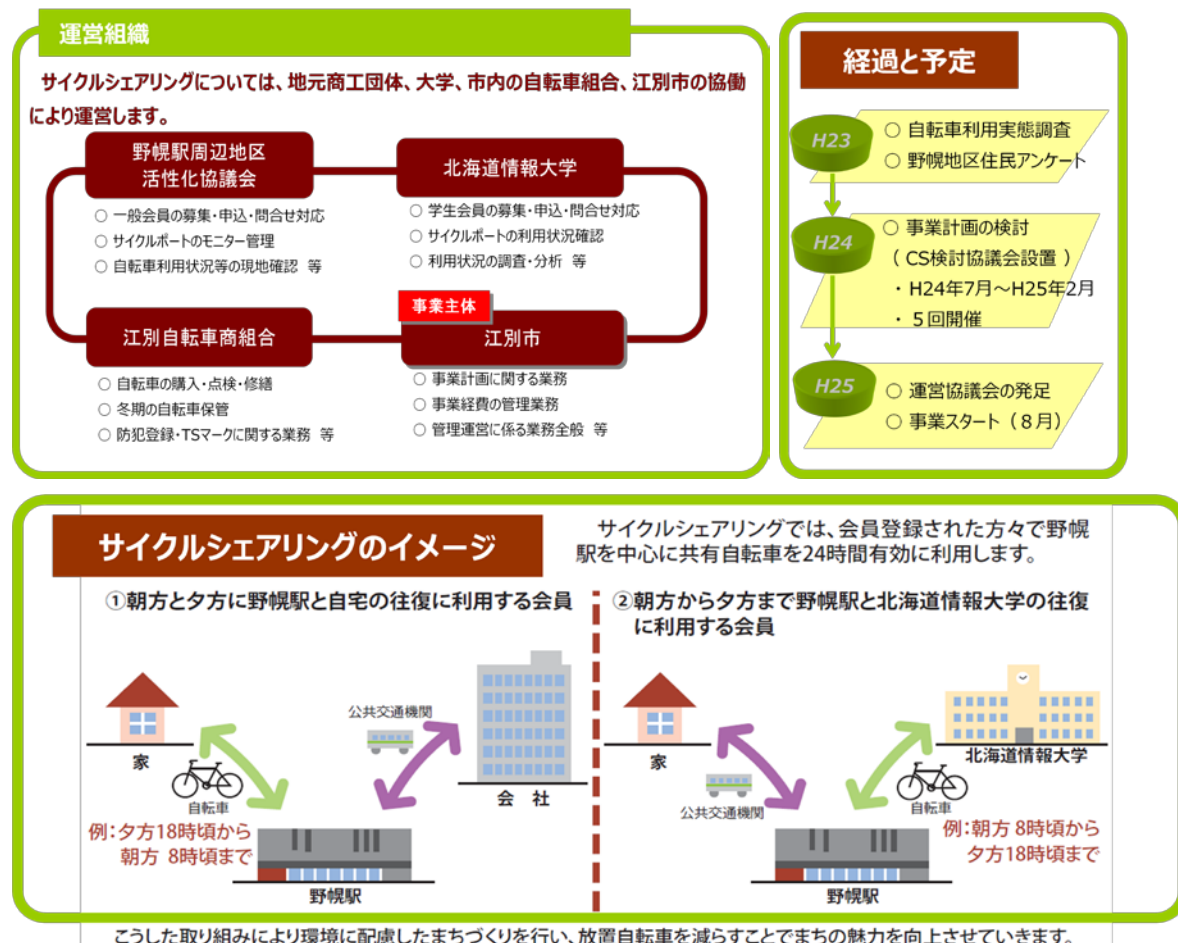
24時間利用可能・会員登録料金500円（H25年度は利用料無料）

●会員登録（募集は終了しました）

- ① 野幌駅と自宅を共有自転車で往来する方／40名
- ② 野幌駅と北海道情報大学を共有自転車で往来する方／40名

●運営組織

野幌駅周辺地区サイクルシェアリング運営協議会（地元商工団体、大学、市内の自転車組合、江別市の協働による運営は道内初）



オープンセレモニー

4月から5月にかけて募集して決定した「事業の愛称」を発表します。また、事業で使用する共有自転車を披露します。

- 日時／7月27日(土)12時30分～13時
 - 会場／江別市民祭り in 野幌特設ステージ
 - 主催／野幌駅周辺地区サイクルシェアリング運営協議会
- 詳細は江別市HPへ→リンクは[こちら](#)

また、同日にプレオープニングイベントとして、「大地の風と江別野菜の自転車ツアー」も開催されます。

【内容】

自転車の安全で正しい乗り方を学ぶ講習を受けてから、共有自転車に乗って決められたチェックポイントを回り、江別の田園風景を満喫するサイクリングツアーです。

ツアー後は、「食と農のかたりべ」による「ためになる野菜の話」を聞きながら、江別産野菜を使った焼きたてピザの試食会も実施します。

詳細は江別市HPへ→リンクは[こちら](#)



サイクルシェアリングとは・・・

各所に配置した自転車を登録者間で共有（シェア）して利用することです。利用者は、自転車の配置場所（サイクルポート）間で利用することができます。

この他、道内では札幌市内中心部でサイクルシェアサービス「ポロクル」が展開されています。「ポロクル」のHPは[こちら](#)